

「その手を執りて、 呼びて白えり、 起きよ。」 小女、

(ルカによる福音書8:54) イアイルの娘を ゃぇぃ 病の床より起こせし如く、 爾が全能の手を伸べて 彼を壮健になし給え。 (病者平癒祈祷より)

仙台 980

IJ

ス

1

ス

0021 仙台市青葉区中央三丁目四一二〇 http://www.sendai-orthodox.jp FAX(○ ̄ ̄) ̄ ̄ ̄ ̄ ̄ ̄ ̄七四四 orthodox@hyper.ocn.ne.jp

ス 息を引き取った後だった。 リスト 0 眠っているだけである」とい え」という祈りがある。 言われると、 ロ)のことで、 るイアイルとは、 が全能の スに病の癒しを願い求めた。 に陥ったために、 手を取って、 トスは、 信 ルの娘を病の床より起こせし如く、 者 徒 スが到着した時には、 が 癒祈 手を伸べて彼を壮健になし 彼女はたちまち甦っ 祷 「娘は死 になった時に、 その娘が重病で危篤状態 「娘よ、 父イアイルが 会堂司イアイル  $\mathcal{O}$ 中に、 んだのではな この 起きなさい」 しかし、 「嘗て、 中に出てく ところが すでに娘は 司祭が祈る ハリスト その娘 た。 (ヤイ イア V ハリ لح 給 爾

> とは、 テー めの ŧ に救いを与える「手」である。 手をとおして与えるためである。 ご自分の手を伸ばして、 という意味をもっている。 補助 のは、単に身体を起きあがらせるた オー」というギリシャ語で、 「守る」「しっかり固定する」など 万物を創造する「手」であり、 支 ではなく、 配する」 神の力を、 把 娘の手を「取 ハリストス する」 その手と 神の 抱 手

ざる手」である。スの全能の手は、 を行いや言葉で傷つけてしまってい くても い事を思い、 では死に瀕し る。 てくださる私たちの手も、 そんな私たちにとって、 私たちは「怠りの床」に伏せる者で 私たちは、 この 「罪」という病に冒されて、 い 心 たらなさ」 自分ではそのつもりではな 0) ていると言ってい 手を、 同じ過ちを繰り 神 • 心で受けとめる の故に、 神の手 ハリストスが 心 神・ハリス が  $\bar{\mathcal{O}}$ これ 返 互い ぐっと力 手」 くらら 見え 取  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 悪 上 心

と訳された言 手を取った」 「取る」 のは、ハ 葉 (正教会訳では は、 リストスが というとこ も心から何度も祈り続けよう。 < る。 執って」くださるよう、

 $\widehat{\mathbb{D}}$ 

ろである。 わざわざ娘

この

0

ここで注目

たい

|執る] )

# セラフィム大主教座下のご動静

ラフィム大主教座下は、

10

月

9

日

17 に た た た た た か 、  $(\pm)$ カュ 5 東京における緊急事態宣言 に信徒領聖を行われた。 た。 18 の主日聖体礼儀を司祷され、 ニコライ堂では 10 日 セラフ 月より一 (月) にか イ けて東京に ム座下 般信徒の参祷 非公開 は 10 滞  $\mathcal{O}$ が 解 解 日 在 が (日) さ 可 除 カン لح 能 れ れ

> 司 祷

さ

オ

14

日

休には生神女庇護祭の聖体礼

|儀を

日火には、 ヴェチコ・ ロシア大使館 ゲンナー デ イイ を 訪問 臨 時 大 さ

> 使と 11 は来年 つい  $\mathcal{O}$ 月の 7 5 コ 月に延 口 情 ナの 報 口 交 シア主教会議 ン状況悪化のた父換を行った (期となる)。 たの主教へたのので のため 0 渡 口

で

専用 徒聖 から エニコラ 容器に不朽体を収める作業を行  $\mathcal{O}$ れ、 要請によ 1 祈祷後には駐日  $\mathcal{O}$ 59, 不朽体を下 口 シア各教 ポド 賜 す んるた 区 ヴ わ め亜 IJ 使 工

生神女庇護祭の聖体礼儀

ロシア大使館において

ニコライ堂での久しぶりの信徒領聖





教団事務所の執務室において

▲聖ニコライの不朽体の小片を蜜蝋で容器に収める

が

なさ

れた後、

東北ブロックにおける

コ

口

ナ 禍

0

中での各教会の状況報

後の行

事

開

催の予定につ

いて

話

月

21

発行日や内容について話し合われた。

ることとなった。

後に、教区報や

播

カゝ

'n

た

種

 $\mathcal{O}$ 

提

案がなされ、

発刊

K む

けて

準備

す か

また、

教区出版物として、

<

0

# 東北ブロック宣教会議

### 숲 5 た。 1 ク 主 (木) 参加した。 山 東 10

父とウ 正教会に は て開 が、 宣 北 教 東 仙 教 教 水 台 エ 口 カュ 委 口 区 日 関 ラ 員 神 かれ お  $\mathcal{O}$ 本 ツ

中 委 員 が 月

蝋取り、 た。 橋兄が境内の芝刈りをして下さい 保たれます。 仕が行われました。 聖堂や境内の掃除を行っています。 17 毎月第三日曜日は清掃 信徒一人一人の心がけで教会の美が 日印にも祈祷の後、 燭台磨き、 ご協力をお願い また、ステファ 掃除機掛けなどの 奉仕 皆で聖堂内 いします。 (D) 日と ・まし ン高 奉 Ø 10 7

10月23日(土)・24日(日)に水口神











# 新田

地 正教会では、 作業が行われた。 奉仕も行われた。 の周りに雑草対策用の化粧砂 10 月 **10** 日田の代式祈祷の後、 新しく作られた教会共葬墓 また聖堂では燭台 い利を敷っ 中新 [磨き 田

が新しくなった。

市の要請の下、西側のフェンス

### 父が白河正教会に巡回し祈祷を 河正教会だより 行った。文化財景観のため白河

## 痛悔機密」について

長司祭 ダヴィド 水口優明

はその講話の要約です。

10月10日间の三二講話の時に行いました。以下10月10日间の三二講話の時に行いてのお話を、しずつですが緩和していることを受けて、言葉による痛悔」へと戻すことが通達されました。これを機に、改めて痛悔機密においては無言のまま赦罪を受として痛悔機密においては無言のまま赦罪を受として痛悔機密においては無言のまま赦罪を受として痛失の講話の要約です。

### 罪の赦し

れてしまうこと」であり、 と言います。 悔機密があります。 くれます。 「罪」の中に陥ってしまいます。しか つの洗礼、 私たちは 洗礼 そのため 「洗礼」は一生に一度のものですか 洗礼」がこの神との一致を与えて 「神様と再び一つになること」で を受け しかし、 呼ばれるのはその故です。 『信経 以て罪 「罪」の 「罪の赦し」を得させる痛 なおすことはできませ 弱い私たちは、 痛悔機密が「第一 0 の赦しを得る、 中で「 根本は「神様と離 「罪の赦し」 我、 認 また む を

### 石称について

す。 痛悔 持っています。 V. リシ そしてもう一つは、 としたら二種類の内容しかありません。 礼 一つは「讃美」もしくは「感謝」です。 .儀」と訳されています。 「言葉を発する」という意味合いを 「エクソモロギシス」には、 、 ヤ 語 聖事経』という祈祷書では、 の二つの意味があります。 は「エクソモロギシス」と言 人が神の前で言葉を発す 「謝罪」「痛悔」で もともとのギ 讃美と 告 解

### コロナ禍の中の痛悔機密

ですが の中、 機 和されてきたことを受けて、 あくまでも例外的処置でした。  $\mathcal{O}$ このように 密の形に戻すことになりました。 痛悔が認められました。 濃厚接触回避のため、 しかしながらこの度のコロナ禍 「言葉」が大切 しかしこれ 本来の 「無言」で な 状況が緩 痛悔機 痛 悔 は 密

### どのように告解すればよいか

改めて考えてみましょう。との機会に告解すればよいのでしょう。この機会にでは、痛悔機密において、どのように

根本は 言っ ということです。 解するわけですが、 結果、 が、 説明を事細かく具体的に言うのは 時に注意しなければならな てきます。 罪 たり、 先ほど言いましたように、「罪」の 人それぞれに違った「症状」が出 「神との分離」です。 ことや悪 ある意味、 行なったりする私たちです いことを思 しかし、 その いのは、 「症状」を告 そしてその 言葉にする 0 た 不要だ 状況

密は、カウンセリングや人生相談であり真逆の状態になってしまいます。痛悔といい「言い訳」の誘惑に流されてしまいます。また人を批判してしまう罠、単なるす。また人を批判してしまうと、人はつです。説明を多くしてしまうと、人はつ



密 ょ ま す。 は V せ それぞれ独立した機密です) は ん。 です 悔 どうして 别 機 日 密は 本 iz 来、 時 単 間 ŧ 痛 独 をとることが 悔機 で 1 告 密と聖 つ受け 解 を L 存 ても で た 機 き V

### 領 聖をするための 準

ます。 を向 機 領聖を年に二 て ただく前に 自 機密を受けることが 行 聖 i 分 の 密として常に受けるべきものです。 11 われる前 L ない た時 か 準 けるという準 これ 不当さを認 備 正 代  $\mathcal{O}$ 日本正 一教会も ため は、 必要だからです が 口 あ 心 ŋ 0  $\mathcal{O}$ 領 を 聖 4 痛 教会では ま あ 備 識 ふる 義務が 預 悔機 する、  $\mathcal{O}$ が、 L たが、 りくだら 準 かるように 尊体 密 備 また痛 けら 聖体 を義 神 の とし 基本的 外国 尊 愛に心 務づけ て痛 血 せ れ 礼 らる、 勧 では を 儀 悔 7 に 8 11 悔 が

司 祭の役目

IJ お 痛 悔 ス V 機 1 7 ス



スを行 す。 6 を は を 可 が ま す。 司祭を信 絶 能 せていることの 赦 使 司 であ 対に他言し す 徒 祭はそ 権」 11 ・ます。 れば ちとそ 頼 痛悔 して告解  $\mathcal{O}$ 司 ては 司 人が真に心  $\mathcal{O}$ 祭は 証 する人にアドヴァイ 後 を V 人 継 け 通 することが 告解された内容 てもあ 者 ませ L 12 て流 を 授 ります。 ん。 け りくだ れ た でき 信徒 出ま 罪

実際に何を言ったらよい か

り、 せ 番 聞 す 1  $\mathcal{O}$ やふやだったりします。 くつか 教えに る時 ることです。 いいの きます。 何 言ったり、 か罪を犯し E 例をあげてみます。 を使うの は、 は、 聞くこと、 L 聖書 普通、 か 思っ Ľ たか、 1 を読 が ず その たりし 祈 自分自 適当 n 悪 祷文に心を合わ むこと、 にして 基 そん 「です。 V 準は |身の たか ことをし な 正 時 良心に と自 以 時、 教会 下 に た 短 あ 省

に心を煩わせてしまった を忘れ て仕 事 日 常) 0 <u>こ</u>と ば カュ

> 宀 う時間がもてなかった。 人に 祈りを忘れ 怒り 対 の心、 l て、 て、 蔑む心) うらやむ心 信仰 を育てようと をもった (ねた み 0

「怠惰な心で無気力に過ごした。 欲を満たす思い、 行動をとっ た。

直さ従順さが自分にはないと思う。 人を言葉で傷つけてしまった。 (聖書を読 (聖書を読んで) 偽善者パリサ んで ペトルのような 人 素

Ź

ためては のように人を非難してしまった。 何 「感謝 神に感謝したい。」 の心を忘れ 木 った時、 神に頼ることを忘 てい た。 ここで あ 6

ない ては て、 「大きな罪や悪を行ったり思 1 に従ってしまった。 いな 別 カ だけ  $\mathcal{O}$ もの カュ きしれ と思うが、 (占 な V. V ) 自分が お 守 神 様 ŋ 気 0 づい 御 た 迷 信 赦 り 7 Ĺ な n

を

ただきたい。

さ 0 こです。 頭 告 を垂 解  $\mathcal{O}$ れ 正 準 まし 直 備 位な気持な とし ょ ئ و て、 ち 肝 神 心 な 様  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 前 は 素 で 直

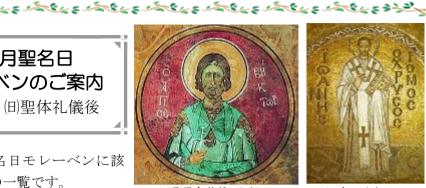
豆然為不多不多不多的多子等子等子等不多不多

### 11月聖名日 -ベンのご案内

11月7日(印)聖体礼儀後

11月の聖名日モレーベンに該 当する方々の一覧です。





▲ 金口イオアン

聖名日	聖名	氏 名(敬称略)
11/2	アルテミイ(アンティオキアの聖大致命者)	針生晶朗
11/5	イヤコフ (聖使徒)	道家和夫、横山 渉、若松勝也
11/8	ディミトリイ (フェサロニカの大致命者)	小野嘉耶、小幡楠城
11/9	カペトリーナ (聖致命女)	早坂美穂
11/11	アナスタシヤ (ロマの聖致命女)	大槻和恵
11/12	ジノビヤ (キリキヤの聖致命女)	遠藤宏美
11/14	ダミアン (メソポタミアの奇蹟者廉施者)	岡 潔、遠藤正義
11/14	キリエナ (聖致命女)	小堀彩華
11/20	ラザリ (ガリラヤの克肖神父)	小野寺洋
11/24	ビクトル (ロマの聖致命者)	土田貴一郎
11/25	イオアン (コンスタンチノープルの大主教金口)	高橋哲郎輔祭、勝又良樹
11/26	マネファ (カッパドキャ・ケサリヤの聖致命女)	鈴木いく子
11/29	マトフェイ (聖使徒福音者)	針生勝通、横山毅、土田定克、 佐々木隆

千円 三千円 二千円

津子、

熊谷天

E-6

高 古

橋 田

ゆり、

畄

岡崎雄俊

五千円 五万円 万円 木村富喜子 八文字惣一、 大立目謙 郎 直 木村良治、

山田喜美雄 村井恵子、 直子、 熊谷憲 永元道子、 小原淑子、 大立目謙朗 一、笹川澄代 高橋嘉彦 木村史之

〇パニヒダ献 憲治、 板 橋

四十万円 〇埋葬献 山

[田弘子

(菊池道

三万円

山

田弘

子

(菊池

道

〇納骨献金

五千円 一万円 岡崎たい 高 橋 清太

三千円 〇敬老会感謝献金 〇感謝献金 横山 望 大立 目 謙

朗

〇聖堂内

献

金

九万六千六百四十

円

子

献 金 報 告  $(3.9.26 \sim 3.10.23)$ 

※敬称略

ピア

ノ調律を二台行う。

# 執

令午和 報告事 後 3 12年 時 10 40 月 分 3 Ś 日 14 (日) 時 10 分 3 階会議· 室

東北電気保安協会による点検が なった。 した。 のために机に備えたままにする。 の代わり新しいパソコンは無償提供と Wi-fi設備を増設して6年契約とし、 来たしたため、 階事務所パソコンが劣化して不 ただし、 古いパソコンはバックアップ Wi-fiも不調だったため ・パソコンを導 そ 24

エレベ 定。 日中に 内 Ì ター 部 照明をLEDに無償取 定期点検が行われ 0 近

日に行われ異常なしと診断され

隣地 確定が  $\bar{\mathcal{O}}$ 行われた。 出 部 強科の 新築に伴

報告 般/収

仙 台教会 0 コ ロナ給付 **!** 金額 が 決

定

(3)

来

-度正教会カレ

ンダ

1

 $\mathcal{O}$ 

部

例年、 年

二〇〇部を発注

しているが

つも余っているので、

八〇部とす

教区 一分担· 金  $\overline{\mathcal{O}}$ 約 4 割を納入済 会計

収 理を行い 益事業部とし て物品 の総棚卸と在

協 議 事

(2)(1)コ 方  $\mathcal{O}$ 郵 規約を作成中。 便局に通帳を新しく作るために、 角会につい 7

た

た痛悔機密も、 続 合った。 今後どうしたらよい が 緊急事態宣言とまん延防止等重点措 は な L  $\mathcal{O}$ 日曜学校、 コップ使用、 中止 指導する 取りやめて短 いように工夫して復活させたい。 聖パン記憶は多数の手がパンに! すべき。 解除されたが、 口 け禍の は、 検温、 聖歌 中の対処に 様子を見ながら継 昼食会、 接吻禁止 消毒、  $\overline{V}$ 無言のままという対 隊練習中止・ 言葉で告解するよう 教会としての 祝賀会、 かについ は 0 7 スク着用、 このまま 7 人数制 . て 各種会合 対処 話 限

9

月

る。

その 他

イクの 個人的に呼び 今年は 0 時に合算する 売上 完成品 ザ は かけ が プ 出 は をし 来上 行 わ 7 が な 0 お 7 が、 き ず 次 る 0 口 販  $\mathcal{O}$ 売し  $\mathcal{O}$ で、 IJ

### フィリップの斎

11月28日(日)より、降誕祭前の斎が始まります。 の斎は、その前日である27日が聖使徒フィリップの 記憶日であるため、 「フィリップの

斎」とも呼ばれます。

斎とは、食事の節制をとおして、 自分の信仰・生活・人生を省みる時 です。その「へりくだり」の心の中 に、ハリストスは降って来てくださ います。降誕されるハリストスを お迎えする準備をしましょう。

日

14 13

日 日

(日) (土)

第22主日代式祈祷

10

時

30

分

徹夜祷はお休み

第 5

調

書札

ガラティヤ 6:11-18

福音

この日は代式祈祷となります。聖体礼儀は

力 8:41-56【第24主日分】

21 20

14

日

(日)

中新田正教会・代式祈祷

 $\widehat{10}$ 

時

\*

28

Ò

### 11 月行事·

7 6 日 日 福音 (土) (日) 第20主日聖体礼儀 主日徹夜祷 ル ガラティヤ1: カ 16 19 31 第 3 【第22主日分】 11 19 調 10 17 時 時

X 七五三・聖名日モレーベン 定例執事会

日(土) (日) 第21主日聖体礼儀 主日徹夜祷 第 4 調 10 時 17 時

一月例パニヒダ 書札 音 ルカ 8:26 39 ガラティヤ2:16-20 【第23主日分】

◇ 三講話 婦人会·方舟会

28 27 27 書札 福 27 28 音 日 日 28 (日) (土) 日 ル 工 フェス 2:4-力 10 25 37 10 16 時 時 勉強会 主日聖体礼儀 神 父中新田出 【第25主日分】 /月例パニヒダ 10 

張

晚

祷

20 日 (日) 日 21 20 21 (土) 日 日 日  $(\pm)$ (日) 主日 第 23 水口神父白河出張 18 10 徹 時 時 主日聖体礼儀 夜祷 主日聖体礼儀 主日徹夜祷 第 6 調 10 17 時

行われませんのでご注意ください 聖堂清掃奉仕の日



日 旧~フィリップの斎の始まり

「正教会暦」に従うため主日の福音の読み に異同があります。ご注意ください。

### 11月の予定

【七五三・聖名祭感謝祈祷】→7(日)

【月例パニヒダ】→14印

【ミニ講話/

婦人会・方舟会】→14印 【聖堂清掃奉仕】→21印

【教会学校】→お休み

【聖歌練習】→お休み

【伝道会】3(水)、17(水)、24(水) 10(水は都合によりお休み

祈祷は予定どおり行われます。状況を見なが ら十分お気をつけてご参祷下さい。

### 三感謝祈祷のご案内

七五三の年齢に関係なく ご参加ください。

時

日時:11月7日(日)

主日聖体礼儀後

(聖名日モレーベンと併せて行われます)

教会よりプレゼントを用意してい ぜひご参祷ください。